

専門研修で人材養成・組織強化を

知識・技術の取得や仲間作りへ



5月企画づくりコース実施

5月13日、休暇村大久野島竹原市を会場に、公衛協とTEAMを対象にした企画づくり研修を開催し、7つの組織から15名が参加しました。

今年度の企画づくりコースは5月と12月の2回開催を予定しており、5月は当協会の「環境と健康のコミュニティ活動助成事業」へ、12月は、財団や行政、企業が

の基礎を学び、企画力を養うことをねらいに実施しています。プログラムは、地域の課題を整理↓企画書を書く↓発表する↓講師の助言を受ける↓企画書を修正する↓発表するという作業と発表を繰り返して、オモイをカタチ(企画)にしていきます。1泊2日の宿泊研修スタイルで実施しており、地域の課題解決にじっくりと向き合うことができます。

今年度は、当協会の基金を活用した「環境と健康のコミュニティ活動助成事業」の申請や来年度に向けた行政および企業の助成金や補助金の申請タイミングを考慮した日程としており、情報整理と資金面の支援をねらいます。

「広報・ツールづくりコース」は、活動をPRするツールづくりのノウハウを、体験を通して習得する研修です。所属団体の広報力を振り返り、広報物を作成する実習と発表を通して、広報力向上を目指します。このコースでは、チラシやポスター、リーフレットなど紙媒体で発行する広報の魅力アップとFacebook

今年度は「企画づくりコース」「広報・ツールづくりコース」「防災・減災コース」の3つの研修を5月から順次開催しています。

「企画づくりコース」は、まちづくりや組織づくりに対する思いや願いを具現化するため、マンダラを使い、思いを整理し、事業メニューの考え方や技法

「防災・減災コース」は、昨年の7月豪雨災害教訓に、いざというとき、公衛協には何が求められ、何ができるのかを考える研修を予定しています。

どの研修も、基礎的な知識や技術を、楽しみながら学べるよう毎年内容を少しずつ変更しています。ぜひ、興味のある方はぜひ参加してみてください。

なかなか解決しない不法投棄問題。子どものときからふるさとの景観を愛し、道徳心を養ってもらうため、教材

として紙芝居を作成します。不法投棄のない島をねらいに実施するもので、前作であるアイドリング・ストップ

物語」の登場キャラクターを引き継ぎ、実際の不法投棄の状況写真やその撤去作業の様子などを加味してリアル

コミュニケーションを活性化し、いざという時の共助につなげることをねらいに、花壇づくりや軽運動など定期的なプログラムを実施します。公園に集うのは、子どもからお年寄りまでを想定し、プログラムも対象に応じて工夫する計画です。

をねらいに、若い世代が興味関心を抱く「食」をテーマに環境問題や社会問題への理解を広げていきます。「買い物は投票なんだ」をメッセージに、講演活動を展開する藤原氏のお話をきっかけに買い物から食や環境について気付き、考えてもらう機会を提供する計画です。



5月の研修の参加者。手順を追って企画を作成



参加して日々の

【竹原市公衛協】「本川公園」コミュニティ交差点プラン」

公園の整備に住民が自主的に参加して日々の

【かんきょう会議浮城】「買い物について考えよう」藤原ひろのぶ氏お話し」

事業の実現が、地域の課題解決につながることを期待します。(地域活動支援センター)

17市町で千人以上が受診

省エネ意識向上で、家庭からのCO2排出削減へ

広島県は、低炭素社会づくりに向けて、広く県民にCO2削減の取り組みを促すきっかけづくりとして、「うちエコ診断」の受診を勧めています。この診断は、うちエコ診断士(=環境省認定)が専用のソフトを使って、各家庭の住まい方やライフスタイルに合わせた省エネ対策をアドバイスし、家庭からのCO2排出削減を目指しています。脱温暖化センターひろしまは「うちエコ診断実施機関」の認定を受け、診断士の派遣・育成、受診者情報の管理などで、広島県に協力しています。



といった声が聞かれました。

今年度も広島県と連携し、イベント会場や公共施設・店舗などで診断の実施を予定するとともに、町内会や団体での申し込みを受け付けます。診断士がお住まいの地域に出向いて診断を行い、広島県在住者であればどなたでも無料で受診できます。詳しくは脱温暖化センターひろしままで電話でお問い合わせください。(TEL:082-293-1512)

【診断件数】

2017年度 457件
2018年度 559件
合計 1,016件

【市町別の受信者数】

市町	件数	市町	件数
広島市	175	東広島市	21
呉市	38	廿日市市	106
三原市	37	江田島市	23
尾道市	26	府中町	152
福山市	85	海田町	12
府中市	12	坂町	1
三次市	29	大崎上島町	239
庄原市	20	世羅町	12
大竹市	28	合計	1016

2018年度は年間診断540件を目標に実施し、県内各地で559件の診断を行いました。イベント会場や店舗に診断ブースを設置し、来場者を対象に実施する会場診断と、企業や団体等に診断士を派遣し、職員や会員を対象に実施する団体診断を中心に、多くの方に受診していただきました。受診者からは「省エネに取り組みたいと思っていたが、行動には移せてはいない。具体的にどうすればよいか分かった」「家庭のどこでエネルギーを使いすぎているか原因が分かった」「お金をかけず手軽にはじめられるアドバイスを聞いた。帰って家族と相談して実践してみたい」